

平成 28 年度
事業報告書

施設名：たかし保育園新鎌ヶ谷

平成 29 年 3 月 31 日
社会福祉法人茂原高師保育園
理事長 篠田 哲寿

1. 管理業務の実施状況

①保育時間

	保育標準時間	保育短時間
平日 土曜	7:00~18:00	8:30~16:30

②特別保育事業

病児保育事業 (体調不良児対応型)	該当なし
延長保育事業	平日、土曜 7:00~7:30 (短時間のみ) 18:31~20:00 ・延長保育利用状況については毎月の報告書参照
地域子育て支援センター事業	該当なし
一時預かり事業	該当なし

③クラス体制および利用状況

めばえ組…0歳児

ふたば組…1歳児

わかば組…2歳児

しげり組…3歳児

いぶき組…4歳児

みのり組…5歳児

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	6	12	18	18	18	18	90
28年4月	7	18	17	18	8	1	69
29年3月	7	18	18	17	10	2	72

2. 年間行事実施状況

4月	入園式 慣らし保育
5月	こどもの日の集い 内科検診
6月	保育参観 歯科検診 尿検査
7月	七夕の集い プール清掃 (5歳) プール遊び
8月	プール遊び 五本松小学校職場体験 デイサービス訪問 プール納会 (3~5歳) スイカ割り
9月	総合避難訓練 デイサービス訪問 防災点検 歯磨き指導 保健所巡回指導 デイサービス訪問
10月	運動会 青空給食 (3~5歳) デイサービス訪問
11月	親子遠足 (4歳、5歳) 園バス遠足 (2歳、3歳) 内科検診 歯科検診 デイサービス訪問 本WA歌公演
12月	クリスマス会 カレーパーティー (3~5歳) デイサービス訪問
1月	発表会
2月	節分の集い 保護者保育参加 紙漉き体験 (4歳5歳) 県指導監査 デイサービス訪問
3月	お別れ会 ミニコンサート (オペラ) 卒園式 デイサービス訪問
毎月 実施	誕生会 避難訓練 身体測定 食育活動

3. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 平成28年度（自）平成28年4月1日（至）平成29年3月31日」参照。

4. 評価および反省

（1）児童処遇について

「安定した生活と質の高い保育を実践する」を理念にかかげ、日々個々の発達に配慮し「幼児は経験が学びに、乳児は生活が学びに」を意識した保育を実践しました。特に幼児は、泥遊びや絵の具遊び、雨降り散歩、森探索など家庭ではなかなか経験させる事が難しい活動を積極的に行い、体験や経験が発想力や行動力につながるよう援助し、色々な事に自分達で気付いていく力を養いました。また、廃材や製作材料などを十分にクラスに用意し、子ども達が自由に製作や絵画に取り組めるよう室内環境を整え、適切な道具の扱いを知らせながら、豊かな発想力を育て、自分で創造していく楽しさを伝えていきました。

乳児では、担当制を導入し、子ども達が不安になりやすい、食事・排泄・着替えの部分を同じ保育士が関わっていく事で子ども達が安心して保育園に通い、「保育園は楽しい」の思いが定着していくよう配慮した保育を展開しました。開園初年度のため、まだまだ課題が多くあります。来年度は園内研修や園外研修で学びの機会をもち、より良い保育を提供できるよう努めていきたいと思っています。

（2）食育について

乳児クラスでは、季節の野菜に触れる機会を設け、スーパーで目にするカットされた野菜ではなく、本物の大きさや匂いや重さを感じながら、旬の野菜に興味や関心が持てるような活動を毎月行いました。

幼児クラスは、栄養士がクラスに入り3色食品群の話や、朝ごはんの大切さなど自分達が食べているものが体を作っているという事を学ぶ機会を作ると共に、園庭に菜園を作り、4.5歳児が中心になり様々な野菜を育てました。夏野菜は豊富に収穫する事ができ、育てる楽しさや収穫する楽しさを十分に味わう事ができました。また、それを自分達で調理する経験をしたことで、野菜に対する苦手意識の克服につなげる事もできました。野菜の栽培に加え、家庭では、なかなか経験させることができないパン作りやピザ作り、うどん作りなどを経験させ、普段簡単に食べている食べ物が、どんな工程を経て自分達の口に入っているのかを知る経験をしました。粉がどんどん変化していく様子を経験した事で、自分達で作れるという発見につなげる事ができました。今後も積極的に取り組んでいきたいと考えています。

冬野菜、春野菜の栽培にも挑戦しましたが、土壌が固く収穫することができませんでした。来年度の課題にしていきたいと思っています。

日本の伝統的な行事では、栄養士が行事食を給食で提供し、子ども達に日本の伝統的な食文化を伝えています。子ども達にも保護者にも好評を得ているので、今後も続けていきたいと思えます。

(3) 保護者対応について

1日の中のどこかの時間で、必ず担任と顔を合やす事ができるよう時間外保育のクラス編成を工夫し、担任とコミュニケーションが取れるようにしたり、職員間の報告・連絡・相談を密にし、必要事項は朝礼で全職員に知らせ、情報を共有し保護者の信頼が得られるよう努めてきました。

行事の後には、アンケートを実施し、保護者の要望や意見を把握したうえで、日々の保育や行動の見直しができるよう心がけました。

日頃の活動内容は、毎日クラス前のホワイトボードに一日の様子を記入し知らせたり、ホームページの写真ブログを通じて一週間の様子を知らせたりしています。園全体の姿や活動の様子は、玄関前のブラックボードに写真と伴に掲示し、全クラスの保護者に知らせる事で、保護者の安心感を得られるよう努力しました。来年度からは個人面談も行い、より信頼され安心していただけるよう努めていきたいと考えています。

(4) 全般について

開園初年度のため、すべての活動が手探り状態でのスタートとなりましたが、職員の協力と努力のおかげで、大きな問題もなく一年間を終える事ができました。今年度は、日々の保育の実施に重点を置いたため、職員の研修や園内での研修に積極的に取り組む事ができませんでした。来年度は30年度の保育指針改定も視野に入れ、より保育の質を高めていけるよう積極的に外部研修に参加したり、園内研修にも取りくんだりし、職員一人ひとりの意識を高め、保育の質の向上に力を入れていきたいと考えています。

また、今年度の行事を再度見直し、行事内容の改善に取り組むと共に、新しい行事を計画し、より魅力的な保育の展開を目指していきたいと思っています。